

エッグドロップ甲子園に参加しました

エッグドロップとは、10mの高さから落とす生タマゴを紙だけで保護し、割れないようにする科学実験です。エッグドロップ甲子園はそんな科学実験を利用した総合頭脳競技です。様々な知識のほか、ものづくりに必要なコスト計算、デザインなども問われる大会です。3人一組でエントリーします。

本校では、高校1年生の5チームが参加し、3チームの卵が割れませんでした。

なお、エッグドロップ甲子園の様子は、22日の日本テレビ系の番組「スッキリ」にて放送予定です。以下、生徒の振り返りをご紹介します。

私たちは、11月3日にエッグドロップ甲子園に参加しました。

この甲子園では、10mの高さから卵を落としても割れないようなプロテクターを、与えられた紙のみで製作します。作るのにかった時間やデザイン性、使った紙の量、人気投票などから順位が決められます。私たちが作ったプロテクターは見事卵を守りきることに成功することができました。身の回りの生き物や建物からヒントを得て作られた斬新なプロテクターが多く、とても参考になりました。残念ながら賞を取ることはできませんでしたが、いろいろな思考法を知ることができ、とても刺激を受けました。

